

令和7年度進行管理・評価シート
高梁市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和3年3月29日認定）
（最終変更 令和7年3月27日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 関係各課との連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画等との連携による良好な景観の形成	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 高梁市歴史的町並み保存地区整備事業	3
2 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	4
4 史跡備中松山城跡記念物保存修理事業	5
7 旧広兼家住宅保存修理事業	6
8 吉岡銅山遺跡調査事業	7
9 笹畝坑道整備事業	8
12 松山踊り保存伝承活動推進事業	9
13 備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業	10
15 高梁地区道路美装化事業	11
22 古民家再生事業	12
23 日本遺産推進事業	13
24 歴史と文化の普及啓発事業文化の普及啓発事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存又は活用、文化財の修理	15
2 文化財の保存・活用を行うための施設	16
3 文化財の保存及び活用の普及啓発	17
4 文化財の防災、埋蔵文化財の取扱、文化財の保存・活用に関わっている住民、任意団体など各種団体の状況及び今後の体制整備	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1	19
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 観光客数(主要文化財対象者数)の推移	20

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	21
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
関係各課との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 計画の実施にあたっては、「高梁市の歴史と伝統等を生かした文化のまちづくり連絡会議」において、計画の推進、連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光課が中心となって、関係課と連携を図り各事業を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2期計画の事業の円滑な実施に向けて、関係課の一層の連携を図り、取り組みを推進していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【庁内連絡会議】

- ・事業担当課と随時協議しながら事業を推進した。
(関係課) 教育委員会社会教育課、観光課、成羽地域局、建設課

【法定協議会】

- ・第20回 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会
開催日:令和8年3月23日(月)
主な議事:令和7年度事業の実施報告について
令和8年度事業の実施計画について
第2期計画中間評価案について



第20回 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

景観計画等との連携による良好な景観の形成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------------	---

計画に記載している内容 重点区域内の文化財周辺については、その大部分が高梁市景観計画に基づく自然緑地景観形成ゾーン、歴史的町並み景観形成ゾーン、駅周辺景観形成ゾーンもしくは、主要眺望地点に定められている。 高梁地区重点区域においては、都市計画法による奥万田地区地区計画を定めており、建築物などの形態または意匠、高さの制限や、屋外広告物の規制など、文化財の周辺景色としてふさわしい地域となるよう規制を行っている。 吹屋地区重点区域は、吹屋中心部を重要な景観とその背景を保全するための眺望地点に指定し、周辺の山並みと一体となった調和した景観の維持及び向上を図るため、大規模建築物などの規制を行っている。
--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年に策定した高梁市景観計画に基づく届出がある場合、景観審議会において景観形成基準に対する適合性を審議している。令和7年度は、9件の届出があり、そのうち景観形成重点地区内については5件の届出があった。高梁市景観計画は策定から10年が経過し、第2期計画の策定を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	歴史的な町並みが保存されている地区において、人口減少による空き家の増加や近代的な建築物の増加が見られる。 こうした地域においては「高梁市歴史的町並み保存地区整備事業」といった諸事業を実施し、適正に管理することで歴史的風致の維持及び向上を図る。

状況を示す写真や資料等

- 高梁市景観審議会 第18回 定例開催:令和8年2月18日(水)
 主な議事:令和7年度 高梁市景観計画及び景観条例に基づく届出実績報告



第18回高梁市景観審議会

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
高梁市歴史的町並み保存地区整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成22年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史的な町並みを保存し後世に伝えていくため、城下町の面影を残す路線を歴史的町並み保存地区とし、その沿線の建築物等を対象物件として、市が定める条件にあった歴史的に価値がある建造物や住宅等の外観を、保存修理または修景をする者に対して一定の補助をする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
城下町の面影を色濃く残す本町や石火矢町、紺屋川筋など、高梁市景観計画に定める景観形成道路を対象地区として、伝統的の家屋等の保存修理や修景に対する補助を行っている。令和7年度は、建築物3件、工作物1件に対して補助を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	人口減少等の影響もあり、歴史的な町並みにある家屋は老朽化による取り壊しや空き家が見られるようになってきている。制度の一層の周知や住民意識の醸成を図り、歴史的町並みの存続に努める必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

●小池邸外壁改修(本町)



保存修理前



保存修理後

●東氏庭園土塀改修(中之町)



保存修理前



保存修理後

●石積擁壁改修(頼久寺町)



保存修理前



保存修理後

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区に選定されている吹屋地区の歴史的風致を継承していくため、伝統的建造物の保存修理等に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高梁市吹屋重要伝統的建造物群保存地区の傷みが激しくなってきた伝建家屋を順次整備していくことで、歴史的風致の維持向上を図った。令和7年度は、1件の保存修景を行うとともに、7件の小修繕を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施主の高齢化により改修への意識が低くなってきているが、吹屋町並保存会と連携し、引き続き、意識の高揚を図る。

状況を示す写真や資料等

《実施した建造物》



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
史跡備中松山城跡記念物保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和12年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業補助金

計画に記載している内容 史跡備中松山城跡は、史跡指定地が8箇所にて点在しており、地点ごとにおける整備基本方針によって、保存整備、環境整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

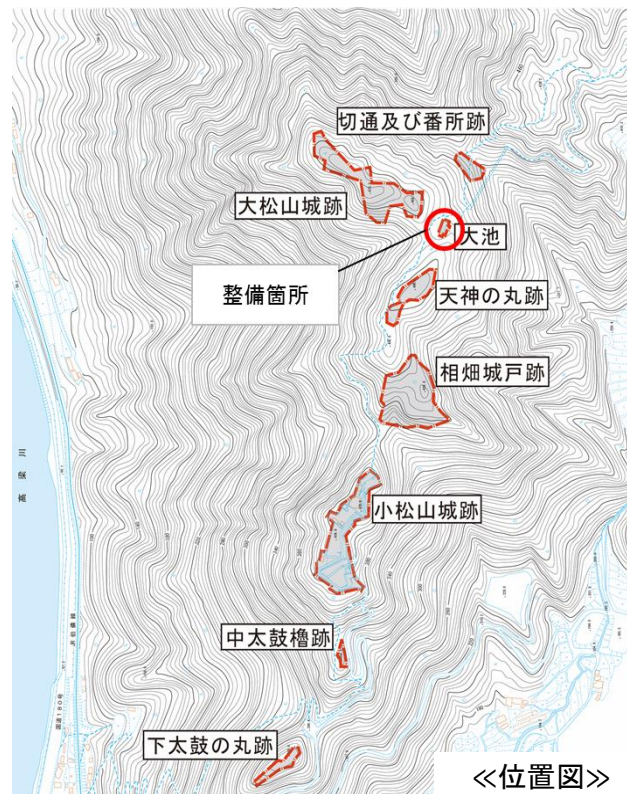
大池及び大池周辺の保存整備を長期的に実施する計画であり、令和7年度は10年目である。大池を構成する石垣の天端保護工事を実施するとともに、進入防止柵を設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後の発掘調査によって、整備方針を検討していく必要がある。 下の段石垣埋の延長部分の整備方法を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



整備前



<<位置図>>



整備後



進入防止柵の設置状況

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

旧広兼家住宅保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間 平成27年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

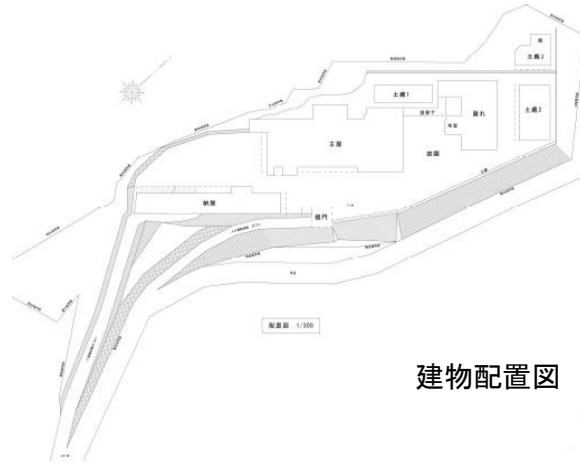
計画に記載している内容 旧広兼家住宅(市指定重要文化財(建造物))を構成するものに焦点をあて、文化財的な価値を後世に継承するために調査し、計画的に保存修理を行っていく。建物の傷みが進行しており、報告書作成までは、これまでも行ってきた建物を守るための緊急的な部分補修を継続する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は専門家による建造物調査の2カ年計画のうち1年目としての、建造物の詳細な記録作成を行うとともに、広兼家住宅の石垣の現況の記録を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和8年度に予定している調査報告書作成ののち、建造物の計画的かつ効率的な修理工事を行う。

状況を示す写真や資料等



建物配置図



建物調査の様子



旧広兼家住宅 全景

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
吉岡銅山遺跡調査事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和12年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業補助金		
計画に記載している内容	吹屋地区が銅山と弁柄で栄える礎となった吉岡銅山遺跡に関する発掘調査や文献調査、記録の収集などを行い、歴史的・文化財的な価値付けを行い調査報告書としてまとめる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
吉岡銅山関連遺跡の文化財的な価値付けを行うために、計画的に発掘調査、測量調査、文献調査等を実施している。令和7年度は、倉庫跡の現況把握のために樹木伐採を行うとともに、倉庫跡の一部で遺構の残存状況確認のための発掘調査を実施した。また、二番坑周辺の地形測量、及び三番坑から二番坑への構内通路の地形測量を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度に吉岡銅山関連遺跡調査委員会において、今後の調査指針をまとめた。各地に残されている過去の銅山の記録調査と発掘調査を並行して実施する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
吉岡銅山と周辺の鉱山		吉岡銅山の建物配置(過去の図面)	
			
吉岡銅山 倉庫跡の石垣		倉庫跡における発掘調査	

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

笹畝坑道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	---

事業期間 平成24年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)

計画に記載している内容 笹畝坑道の入口奥及び出口付近等の外壁を支える坑木が腐朽しているため、修理を行う。また、坑道内の説明には欠かせない採掘作業を再現した人形、照明設備も傷んでいるため計画的な整備を実施する。

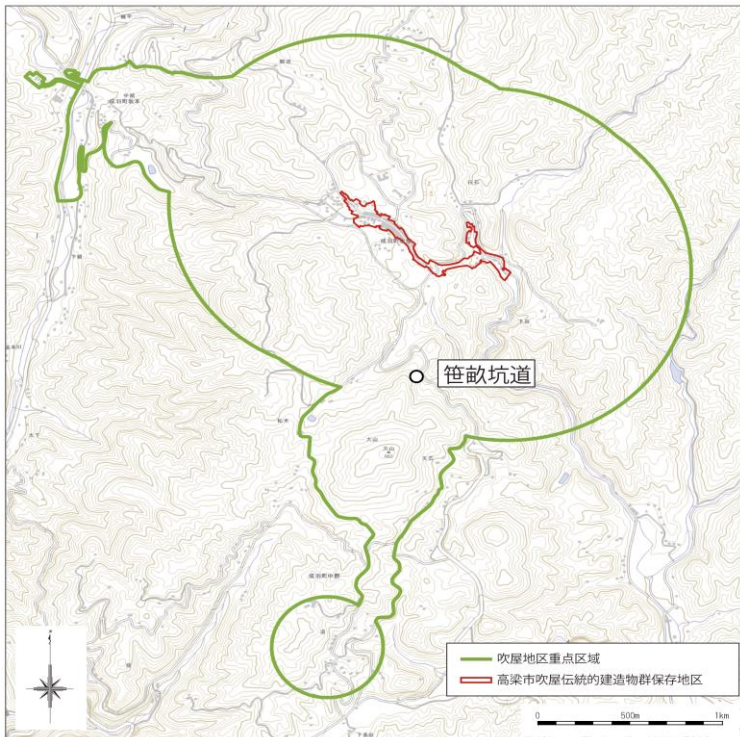
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、令和6年度に作成した坑道内の現状把握及び修繕に係る提案等、長期的な管理方針に基づき危険カ所の修繕(階段の腐朽箇所修繕)を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	坑道内の痛みが進行していることから、補修を継続し進めていく必要がある。
--	-------------------------------------

状況を示す写真や資料等



評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度						
項目		現在の状況							
松山踊り保存伝承活動推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手							
事業期間	令和3年度～令和12年度								
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)								
計画に記載している内容	松山踊り(県指定重要無形民俗文化財)を構成する「地踊り」「ヤトサ」「仕組踊り」の音頭や踊りの所作などの保存継承活動をしている団体に対して、保存継承に必要な活動経費と用具の整備にかかる費用について財政的な補助を行い、その活動を支援する。								
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で									
県指定重要無形民俗文化財「松山踊り」の保存伝承活動を行う3団体を対象に、用具整備にかかる補助金交付の申請受付を行った。今年度は松山踊音頭保存会より用具の整備の申請があった。(昨年度の申請は0件)									
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)								
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	団体の担い手が少ないことが要因となり、活動費用の捻出が課題となっており、補助金を活用し継続的な活動ができるように支援を行うことで、活動団体数を維持する必要がある。今年度も通常通り松山踊りが開催されており、団体の活発な活動を継続するためにも引き続き活動補助を行う必要がある。								
状況を示す写真や資料等									
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin: 20px auto;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">補助対象団体</th> <th style="width: 20%;">補助額</th> <th style="width: 50%;">補助交付実績(市内全域)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体</td> <td>事業費の1/2以内で市長の定める額</td> <td style="text-align: center;">13千円 (1団体)</td> </tr> </tbody> </table>				補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)	市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	13千円 (1団体)
補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)							
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	13千円 (1団体)							
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>修繕前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修繕後</p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">松山踊り 保存伝承活動状況 (用具の整備 松山踊音頭保存会)</p>									

評価軸③-13 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度												
項目		現在の状況													
備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手													
事業期間	平成23年度～令和12年度														
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業の効果促進事業)														
計画に記載している内容	備中神楽(重要無形民俗文化財)、渡り拍子(市指定重要文化財(無形民俗文化財))の保存伝承育成を行う保存会や育成会が活動する経費と用具の整備に対して財政的な補助を行い、その活動を支援する。														
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で															
重要無形民俗文化財「備中神楽」、県指定重要文化財「渡り拍子」の保存伝承・育成を行う団体に対して補助金を支出することで、保存伝承、後継者の育成ができるよう支援した。今年度は備中神楽団体の県外公演など活発な活動がみられたほか、渡り拍子団体からも積極的な補助金申請があった。 <令和7年度補助団体数> 備中神楽保存団体 3団体、備中神楽育成団体 8団体、渡り拍子伝承育成団体 17団体 用具・衣装等の整備 2団体 計30団体(事業費2,238千円)															
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)														
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	少子化により担い手が減少しているため、神楽育成団体・渡り拍子保存会ともに補助団体が減少していく可能性が課題として挙げられる。補助金の活用により、継続的な活動ができるよう、支援のPRを行うなど取り組みを実施し、活動を行っている団体数を維持する必要がある。														
状況を示す写真や資料等															
<<活動費の補助>>															
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>補助対象団体</th> <th>補助金の限度額</th> <th>補助交付実績(市内全域)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>備中神楽保存団体</td> <td>100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり</td> <td>413千円(3団体)</td> </tr> <tr> <td>備中神楽育成団体</td> <td>100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり 3,000円/保護者1家族あたり</td> <td>1,004千円(8団体)</td> </tr> <tr> <td>渡り拍子伝承育成団体</td> <td>10,000円/1カラあたり</td> <td>340千円(17団体)</td> </tr> </tbody> </table>				補助対象団体	補助金の限度額	補助交付実績(市内全域)	備中神楽保存団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり	413千円(3団体)	備中神楽育成団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり 3,000円/保護者1家族あたり	1,004千円(8団体)	渡り拍子伝承育成団体	10,000円/1カラあたり	340千円(17団体)
補助対象団体	補助金の限度額	補助交付実績(市内全域)													
備中神楽保存団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり	413千円(3団体)													
備中神楽育成団体	100,000円/1団体あたり 3,000円/会員1人あたり 3,000円/保護者1家族あたり	1,004千円(8団体)													
渡り拍子伝承育成団体	10,000円/1カラあたり	340千円(17団体)													
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>補助対象団体</th> <th>補助額</th> <th>補助交付実績(市内全域)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体</td> <td>事業費の1/2以内で市長の定める額</td> <td>481千円(2団体)</td> </tr> </tbody> </table>				補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)	市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	481千円(2団体)						
補助対象団体	補助額	補助交付実績(市内全域)													
市長が認めた伝統民俗芸能の保存伝承活動用設備を整備する団体	事業費の1/2以内で市長の定める額	481千円(2団体)													
															
渡り拍子 保存伝承活動状況 (清實八幡神社の奉納 下大竹渡り拍子保存会)		渡り拍子 保存伝承活動状況													

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

高梁地区道路美装化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-------------	---

事業期間 令和5年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 道路の美装化を行うことにより、歴史・文化を活かした景観と、多くの市民、来訪者の回遊性の向上を図ることができ、城下町高梁に見る歴史的風致の維持および向上に寄与するものである。

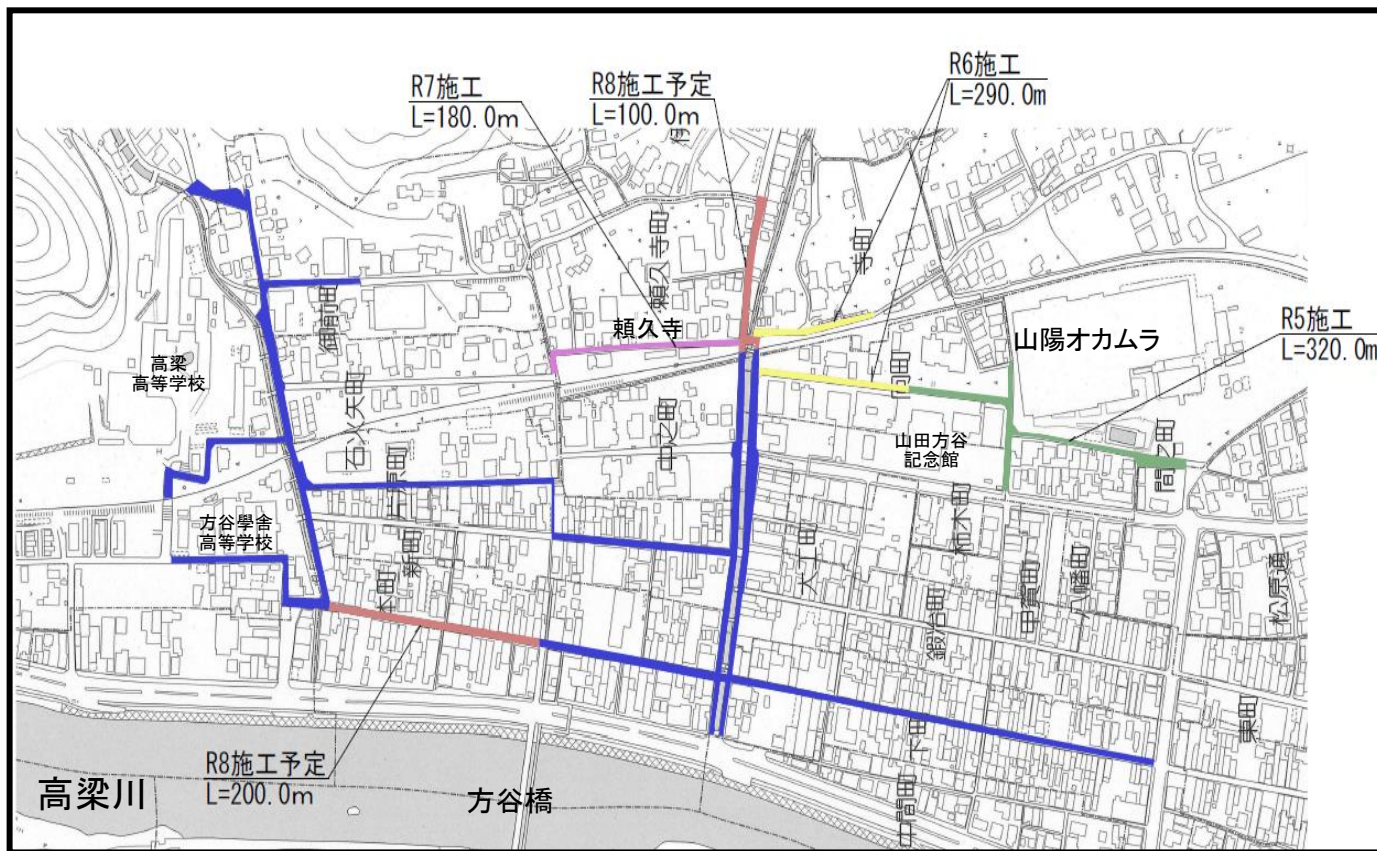
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、市道石火矢町寺町線(頼久寺町地内)のL=180.0mの道路美装化工事を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地元関係者及び施工業者と工事の日程調整を行い、全体計画として計画のとおり進行している。
--	---

状況を示す写真や資料等



施工前



施工後

評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
古民家再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和12年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(空き家再生等推進事業)		
計画に記載している内容	吹屋地区重点区域では、重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業により修理・修景補助を行ってきたが、空き家が増加しており町並み景観の維持が困難な状況になっている。交流滞在型の観光ビジネスを構築して地域の活性化と文化の継承、集落の維持再生を図ることを目的に、空き家を改修し1棟貸しの宿泊施設等として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度: 1棟貸し宿泊施設の2棟目として整備対象の空き家の寄付を受け、所有権移転登記を行った。 令和6年度: 地元運営団体との協議を行い、次年度において基本・実施設計のための予算措置を講じた。 令和7年度: 基本・実施設計を行い、重伝建審議会に諮った。次年度の工事のための予算措置を講じた。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和7年度に設計業務を行い、次年度以降に改修工事、内装整備を行う予定である。スモールコンセッションの導入を視野に入れながら今後のプランを運営業者と協議していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
カフェ併設の1棟目施設「町家ステイ吹屋 千枚」			
			
2棟目整備対象となる空き家		平面設計図(案)	

評価軸③-23 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
日本遺産推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和12年度		
支援事業名	文化資源活用事業費補助金(観光拠点整備事業)		
計画に記載している内容	「ジャパンレッド」発祥の地として、日本遺産に認定された吹屋地域の関連する歴史文化遺産を国内外に広く発信して交流人口の拡大、地域経済の活性化に繋げる事業を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
日本遺産を通じた地域活性化計画に基づき、令和7年度は次の事業を実施した。 ●普及啓発事業：日本遺産関連商品・サービス開発支援、日本遺産ガイド育成事業 ●調査研究事業：弁柄等関連文献調査 ●活用整備事業：新規案内看板の設置、ベンガラ館トイレ改修工事			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	日本遺産を通じた地域活性化計画の最終年度であり、これまでの実績の取りまとめ及び次期計画の策定を行い、次年度の認定継続審査を受ける。		
状況を示す写真や資料等			
●普及啓発事業【日本遺産関連商品・サービス開発支援】			
 <p>令和7年度日本遺産推奨「JAPAN RED 備中吹屋」ブランド 認定商品・サービスを募集します！</p> <p>募集チラシ</p>		 <p>ブランド認定審査会の様子</p>	
●普及啓発事業【日本遺産ガイド育成】			
 <p>ガイド講座の様子</p>		●調査研究事業【弁柄等関連文献調査】	
			
●活用整備事業【案内看板設置事業】			
		●活用整備事業【ベンガラ館トイレ改修工事】	
			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	項目	現在の状況

歴史と文化の普及啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	---

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民が、高梁市域全体の歴史や文化、文化財や民俗芸能について関心を持ち、それらに対する意識の向上が図られるよう、歴史セミナーを開催する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高梁市の歴史や文化を学ぶ歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	受講者が固定化しており、講義内容や回数について検討・調整し、幅広い年齢層への普及啓発を行っていく必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等

●歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」の開催

【開催日】	【テーマ】	【参加人数】
11月2日	西日本初！魚竜化石発見報告トークショー	45名
12月6日	重森三玲の庭「驢庵露地 東氏庭園」の再生プロジェクトについて	43名
1月24日	歴史景観を生かすまちづくり	33名
2月14日	日本遺産構成文化財を歩く～銅栄寺・鉦夫長屋・延命寺・黄金山城跡～	31名
3月1日	弁柄等文献調査事業報告会～吹屋の歴史の新たな一面について～	33名



高梁歴史いろは塾

評価軸④-1
文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
文化財の保存又は活用 文化財の修理	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
地域の貴重な財産である文化財を、適切に保護保存し、活用することは、歴史、伝統、文化などを理解する上で不可欠であり、市民の文化に対する意識の向上と発展にもつながるものである。
文化財の修理にあたっては、その価値を維持していくため、現状維持を基本とする。

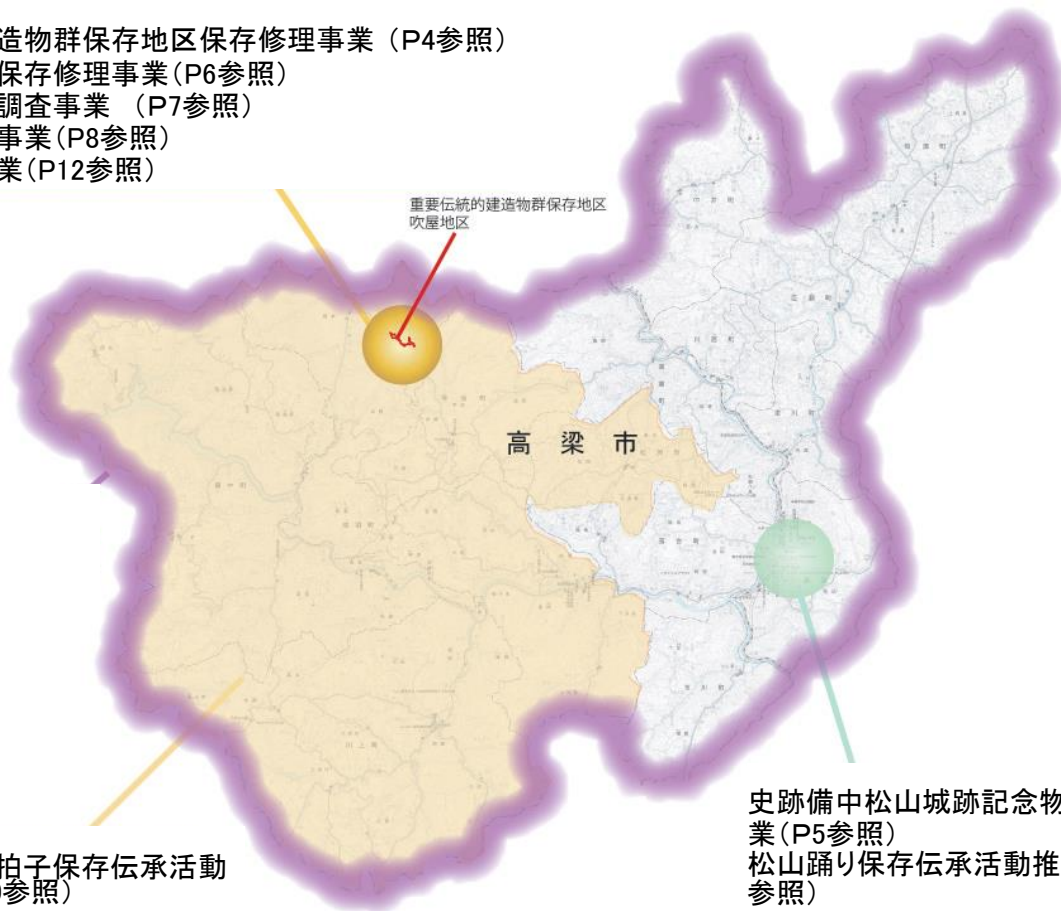
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の保存・活用について
 - ・旧広兼家住宅保存修理事業(P6参照)
 - ・吉岡銅山遺跡調査事業(P7参照)
 - ・笹畝坑道整備事業(P8参照)
 - ・松山踊り保存伝承活動推進事業(P9参照)
 - ・備中神楽・渡り拍子保存伝承活動推進事業(P10参照)
 - ・古民家再生事業(P12参照)
- 文化財の修理について
 - ・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P4参照)
 - ・史跡備中松山城跡記念物保存修理事業(P5参照)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業(P4参照)
- 旧広兼家住宅保存修理事業(P6参照)
- 吉岡銅山遺跡調査事業(P7参照)
- 笹畝坑道整備事業(P8参照)
- 古民家再生事業(P12参照)



備中神楽・渡り拍子保存伝承活動
推進事業(P10参照)

史跡備中松山城跡記念物保存修理事業(P5参照)
松山踊り保存伝承活動推進事業(P9参照)

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財の保存・活用を行うための施設		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を広く公開することは、保存、活用を図る上で重要なことである。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高梁市歴史美術館では、市民をはじめ多くの人に、高梁市ゆかりの文化財や絵画等に親しみ理解を深めてもらう機会とするため、定期的に展覧会を開催している。
令和7年度は、特別展や企画展を開催し、入場者数は延べ1,795人であった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	常設展・特別展を組み合わせた展示計画をたて、展示の固定化をはかる。

状況を示す写真や資料等

●高梁市歴史美術館 展覧会

【期 間】	【展覧会名】	【入場者数】
4月1日～5月12日 (36日間)	特別展「高梁市発足20周年記念 備中神楽と西林国橋」	384人
5月31日～9月15日 (93日間)	「高梁の歴史と美術」	337人
10月4日～12月8日 (56日間)	特別展「清水比庵—その作風の原点—」	359人
12月24日～3月31日 (77日間)	「高梁の歴史と美術」	279人
特別展開催中の歴史展示室入館者		436人



評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	各種講座、講演会、発掘調査現地説明会、修理現場公開などの開催を通じ、文化財の周知に努め、文化財保護意識の普及啓発を図る。 また、市民が文化財に親しみ、関心を喚起するよう説明板の整備や文化財の現地説明会などに取り組むとともに、市広報紙やホームページ、SNSにも継続的に文化財に関する情報を掲載するよう心掛ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
高梁市の歴史や文化を学ぶ歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」を開催したほか、地域の歴史について文化財の特別公開、現地研修などを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市内の学校等との連携を強化し、啓発活動の一層の充実を図る必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<ul style="list-style-type: none"> ●歴史セミナー「高梁歴史いろは塾」の開催 (P14参照) ●地域の歴史を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財備中松山城二重櫓 特別公開 春の特別公開(5月3日～5日)、秋の特別公開(11月2日・3日)に開催 ・史跡備中松山城跡 大池発掘調査現地説明会 (6月7日) 約50名が参加 ・備中松山城 現地研修 落合小学校、川上中学校、高梁小学校、茨城県筑西市役所(高梁市友好姉妹都市)、岡山県古代吉備文化財センター 成羽中学校、県立高梁高等学校、県立城南高等学校、私立方谷学舎高等学校、岡山大学日本史研究室 岡山県商工会議所青年部連合会 ・高梁市郷土資料館(市指定重要文化財・旧高梁尋常高等小学校) 現地研修 高梁小学校、成羽小学校、落合小学校、高梁中学校、川上中学校、有漢学園、県立城南高等学校、明治大学 ・城下町 現地研修にかかる出前講座 有漢学園、高梁小学校 ・城下町 現地研修 高梁小学校、岡山大学日本史研究室 ・山田方谷記念館 現地研修 成羽小学校、落合小学校、川上中学校、高梁中学校、有漢学園、岡山大学日本史研究室、明治大学 茨城県筑西市役所(高梁市友好姉妹都市) ●市内外等への講師派遣 <ul style="list-style-type: none"> 市内 <ul style="list-style-type: none"> ・東中国学校茶道連絡協議会総会講演「高梁市の文化財の魅力」 市外 <ul style="list-style-type: none"> ・お城EXPO2025in松江城「天空の山城 備中松山城 歴史と魅力を語る」 ・お城EXPO2025「天空の山城 備中松山城 歴史と魅力を語る」 ・閑谷学校おもしろゼミナール「高瀬舟のルーツを探る—備前住家史料等から—」 ・岡山県郷土文化財団現地研修会「備中高梁の名家を訪ねる」 ・日本振興会講演「高瀬舟のはなし」 ・総社市中央公民館講座「備中松山藩士 山田方谷の生涯」 ・二松学舎大学日本漢学研究センター特別講演会「山田方谷と幕末維新期の備中松山藩政」 ・日本遺産フェスティバルin倉敷 公開講座 			

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
----	--------	-------

文化財の防災 埋蔵文化財の取扱 文化財の保存・活用に関わっている住民、任意団体など各種団体の状況及び今後の体制整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---	--	---

計画に記載している内容
 消防署と連携し、防火施設や消火設備に対し、助成を行うなど適正な管理を促すとともに、所有者などに対し、定期的な消火訓練などを促し防災体制の強化に努める。
 開発にあたっては、事業者に対して事前に協議を行うように指導し、可能な限り包蔵地を回避し、保存するよう働きかけていく。
 必要な情報提供を行うとともに人材育成を図り、行政と市民との協働による文化財の保存、活用につながるような体制の整備を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーにあわせて、市内の指定重要文化財について、防火査察を行うとともに、消火訓練を行った。また文化財の所有者に対し、防犯、傷付け事案の発生に対する注意喚起を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	世界的な文化財の火災等を受けて、地域住民の文化財等に対する防災意識が高まっているが、引き続き啓発を行うとともに、文化財に対する理解も深めてもらう必要がある。

状況を示す写真や資料等

- 1月26日の文化財防火デーにあわせて、1月28日に高梁市消防本部が教育委員会とともに、国指定・県指定・市指定の重要文化財(建造物)の防火査察を行った。
 また、重要文化財における消防設備点検に合わせて、設置している消防設備の使用方法について訓練を行った。
 (備中松山城、旧片山家住宅、旧吹屋小学校にて)
- 吹屋町並保存会が主体となり、高梁市消防本部、高梁市消防団宇治・吹屋分団の指導のもと、放水訓練を実施した。

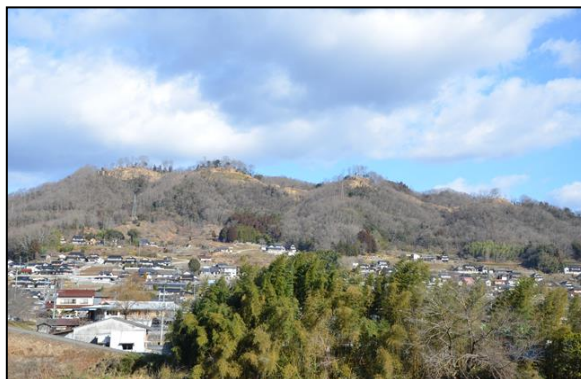


高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区での消防訓練
(吹屋町並保存会主催)



旧片山家住宅での消防訓練

- 開発にあたり、教育委員会に事前の照会が62件あり、埋蔵文化財包蔵地について文化財保護法第93条の届出が19件(工事立会18件、慎重工事1件)、第94条の通知が2件(工事立会2件)であった。
- 川面町において地元団体が自主的に寺山城の整備を行っており、教育委員会が指導した。



寺山城

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
		評価対象年度 令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
ヴァンペールあす開業	令和7年4月5日	山陽新聞
市駅前複合施設が優秀賞	令和7年5月20日	山陽新聞
埼玉から移住・川鍋さん 吹屋唯一の書店開業	令和7年5月22日	山陽新聞
吹屋の魅力 絵本に凝縮 移住決断カラスの物語	令和7年5月31日	山陽新聞
敵侵略防ぎ軍事拠点か 石垣や土塁状遺構確認	令和7年6月3日	山陽新聞
さんじゅーろーの最中アイスいかが	令和7年6月4日	山陽新聞
女性初の神楽師誕生 成羽の育成会所属藤原さん	令和7年6月5日	山陽新聞
高梁で採集、長年展示岩塊から西日本初の魚竜化石	令和7年6月30日	山陽新聞
吹屋の魅力アピールしよう 新商品・サービス募集	令和7年7月2日	山陽新聞
方谷宛て書状2通初公開 高梁の記念館で特別展	令和7年7月3日	山陽新聞
高梁市成羽美術館で展示していた岩石の中に約2億2000万年前の「魚竜」の化石	令和7年7月8日	岡山放送
美術館の展示見てたら・・「魚竜」の化石発見	令和7年7月15日	朝日新聞
日差し浴び大輪輝く あす「ひまわり祭り」	令和7年8月1日	山陽新聞
備中たかはし松山踊りポスター 川本さん原画採用	令和7年8月5日	山陽新聞
晴れの国のおみやげばなし④吹屋の紅だるま	令和7年8月6日	山陽新聞
マンガ灯笼で盛り上げ 川上「絵ぶた」後継9日初のまつり	令和7年8月6日	山陽新聞
14日から備中松山踊り	令和7年8月7日	山陽新聞
夏の夜彩るマンガ灯笼 高梁で初のまつり 人気アニメなど題材	令和7年8月10日	山陽新聞
ご当地デザインのオープナー作製 高梁松山踊り会場で販売へ	令和7年8月10日	山陽新聞
今日は何の日？県下3大踊り「備中たかはし松山踊り」準備進む	令和7年8月14日	岡山放送
城下町華やぐ松山踊り開幕	令和7年8月15日	山陽新聞
伝統の舞「気分最高」 備中たかはし松山踊り	令和7年8月19日	山陽新聞
平松伸二さん名誉館長 吉備川上漫画美術館	令和7年8月20日	山陽新聞
「吹屋」散策マップ作製 高梁に短期滞在大学生イラスト交え紹介	令和7年9月1日	山陽新聞
福地小児童13人 ホタルいっぱい増やすぞ	令和7年9月11日	山陽新聞
ラムネ、最中、陶芸体験 吹屋ブランドに3件追加	令和7年9月17日	山陽新聞
吹屋で食事楽しんで 市体験プログラム 短期滞在の大附さん開店	令和7年10月3日	山陽新聞
巾着とアクセサリー 吹屋ブランド3商品を追加	令和7年10月10日	山陽新聞
重森三玲の庭園復元 あす高梁で一般見学会	令和7年10月18日	山陽新聞
吹屋ふるさと村一帯でアート展 7作家が絵画や立体作品出展	令和7年10月19日	山陽新聞
夜空に大輪咲く仕掛け花火、見物客ら魅了 高梁市成羽町「成羽愛宕大花火」	令和7年11月8日	山陽新聞
幻想的な天空の山城 国内外から訪れた人を魅了	令和7年11月11日	岡山放送
市観光協会 さんじゅーろースープ	令和7年11月14日	山陽新聞
「ホタルの光」楽しみ 福地小育てた幼虫250匹放流	令和7年11月18日	山陽新聞
中学生ガイド、語りも気配りもOK 岡山県高梁市の武家屋敷で初挑戦	令和7年11月20日	朝日新聞
「天空の山城」備中松山城で年末恒例すず払い	令和7年12月16日	岡山放送
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
備中松山城や吹屋地区を中心に、文化財を活用したイベントや文化財の保存・保護に向けた取り組み、観光振興に繋げる内容が数多く報道された。また化石発見の報道が多くみられた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし		
状況を示す写真や資料等		
		
驢庵路地東氏庭園公開	西日本初！魚竜化石発見報告トークショー	

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和7年度

項目

観光客数(主要文化財来訪者数)の推移

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染拡大の影響で観光客数が落ち込んだが、令和4年度より徐々に感染拡大による影響を脱しつつある。

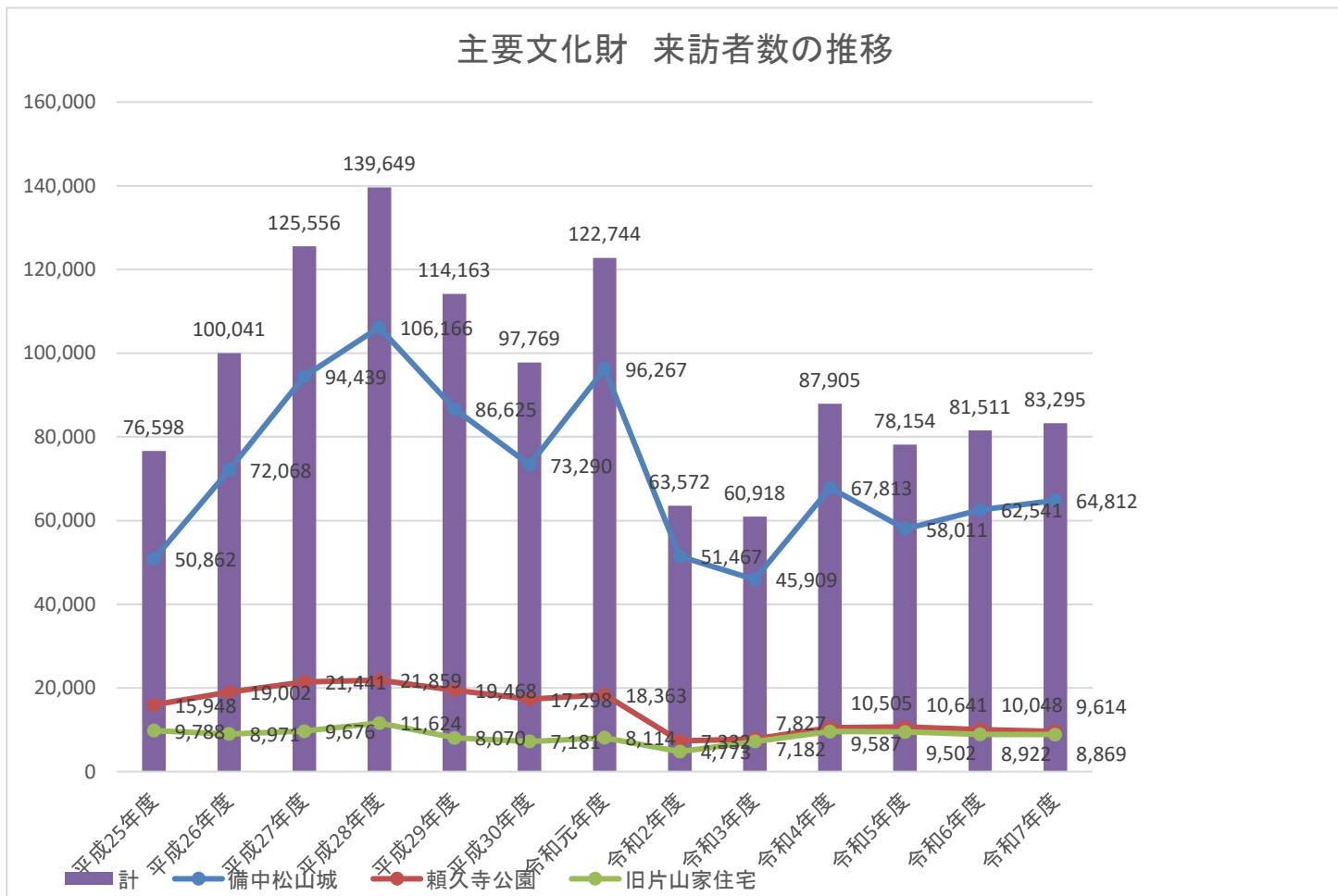
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

関係機関が連携して来訪者数の回復に向けた取り組みを進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価対象年度	令和7年度
・法 令和7年度進行管理・評価シート	
コメントが出された会議等の名称: 高梁市歴史的風致維持向上計画策定協議会	
会議等の開催日時: 令和8年3月23日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・森の芸術祭とはどういうものか。 ・旧吹屋小学校に隣接する宿泊施設が休館になっており、景観的にも問題がある。宿泊にこだわらず、シェアハウスやサテライトオフィス等、柔軟な活用方法も検討し、早く受け手が決まるよう努力してほしい。 ・無電柱化事業はまだ先になるのか。計画ができてからずいぶん経とうとしている。 ・観光客の何割くらいが高梁に泊まっているのか。 ・渡り拍子に危機感を持っている。補助事業だけで継続できるのか。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内国際芸術祭のような芸術祭を県北エリアで行うもの。昨年度に1回目が開催された時には12市町村が参加し約52万人の来場者があった。3年ごとの開催で、2回目が令和9年度に行われる。高梁市も参加しているが、2回目は作品設置のあるメイン会場として参加する予定。 ・高梁市では観光振興、観光消費額アップを目的に掲げており、それには宿泊客増加が必要である。当該施設について、問い合わせは複数件あったが契約には至っていない。募集方法を変えるなど柔軟性を持たせて幅広く、できる限り宿泊施設の方向で検討したい。 ・無電柱化事業を行うには数年かかり10億近い予算が必要である。現在の高梁市の財政状況では難しい。来年度の美装化事業では、無電柱化事業該当地である本町通りを予定しているが、無電柱化が困難であることから、まずは美装化だけでも行いたいということで予定している。 ・アンケートによると、日帰りが8割、宿泊が2割、という数字。高梁市に泊まりたいが宿泊施設がないため他市で泊まる、というよりは、複数の場所を観光するコースに高梁が一部含まれている、というのが現状である。 ・高齢化、過疎化が進行しており難しい状態であることは認識している。地元の間人だけではもう無理だという声も聞こえる。一方、一時期途絶えた分が復活したという事例もある。どのように行政が支援していくかは難しいところだが、何とか維持できるよう継承活動に支援をしていきたい。 	